

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 日光森林管理署
所在地	栃木県 日光市
面積	4.96ha
設定年	1987(S62)年
保護林の概要 (設定目的)	中間温帯林の低海拔地といった特殊な気候条件のもとに成立している、アカマツとコナラが混在した特徴的な群落が形成され、学術上、また、遺伝資源の確保上貴重である。このため、中間温帯域においてアカマツとコナラが混在して生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2017年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、コナラ・クリが優先しアカマツが混生する林分において調査プロットを計1か所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要を把握。(旧裏見の滝コナラ林木遺伝資源保存林)
結果概要	コナラ・クリの中低木、実生など、更新木の生育はほとんど認められないが、アカマツが優占し、コナラ・クリが混在する林相にあり、前回調査と比較して大きな変化は確認されていない。保護対象であるコナラ、クリの成木は健全に生育しており、本保護林は良好な状態で維持されていると評価される。シカの痕跡はあるが、大きな影響は現れていない。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。